

【学校教育目標】 夢に向かって 自ら学ぶ 豊かで たくましい生徒

黒西中だより



TEL 048-768-5454

心のホット相談室 TEL 048-764-1110

<http://kuronishichu.style.coocan.jp/>



第 5 号

令和7年9月1日

生徒数		
1年	68名	2学級
2年	85名	3学級
3年	83名	3学級
4組	3名	1学級
5組	3名	1学級
合計	242名	10学級

図書室は本の宝箱

長い夏休みもあっという間に終わり、2学期が始まります。まだまだ残暑厳しい折ですが、子ども達は暑さに負けず、気持ちも新たに新学期を迎えています。

本校の図書室に図書館補助員の方に書類を渡しに立ち寄りしました。少しお話をしながら図書室の中を何気なく散策しました。

「あっ！手塚治虫氏の『ブラック・ジャック』が全巻そろっている！『火の鳥』、『ブッダ』もある！」

私のテンションは上がりました。家に「ブラック・ジャック」と「火の鳥」は全巻ありますが、図書室にあるのを見ると別の意味でテンションが上がりました。「ブッダ」は大学時代に友人から借りたけれど、挫折してしまった本です。さらに藤子不二雄氏の「ドラえもん」、吉野源三郎氏の「君たちはどう生きるか」。いつか読破したいと思っていた漫画です。借りて読みたいと思いました。

さらに私のテンションはマックスとなりました。それは戸部けい子氏の「光とともに」という本を見つけたからです。私は「個性や特性のある子ども達のことをもっと、もっと理解したい。」と思い、どこかでこの本のことを耳にして、「手に入れて読みたい。」と節に思っていた本です。スマートフォンで検索して見つけて購入しようと思い、チェックをしていたところですが、値段的にちょっと買うのに二の足を踏んでいたところでした。早速、借りて読んでいます。個性や特性をもったお子さんのことを理解するのにとても勉強になるだけでなく、物語は様々なことが起こりながらも、希望の光が必ず見えてきて、前向きな気持ちにさせてくれます。心配したり、不安になったり、安堵したり、共感したりしながらリアリティを強く感じることができ、個人的には、先生方にも必読の図書だと強く推薦したい本です。

さらに絵本のコーナーがあり、そこでも目を見張る物がありました。自分の一番好きな絵本の中の一つ、佐野洋子氏の「100万回生きたねこ」を見つけたからです。ちなみに佐野洋子氏は谷川俊太郎氏とご結婚されていたことがあります。この「100万回生きたねこ」を、その時図書室で読みましたが、目頭が熱くなってしまいました。（心身ともに自分がお疲れモードだったのかもかもしれませんが・・・）一度、購入したのですが家の何処を捜しても見つからず捜していたのですが、これを機に改めて再度、買いました。私は校長室の前に「本を読もう」というコーナーを作り、何冊か私物の本を並べています。その中にこの絵本を早速加えました。私は「100万回生きたねこ」の裏表紙の絵が大好きです。そこには主人公の大きなオス猫の横縞の後ろ姿と小さくて真っ白なメス猫の後ろ姿が、お互いにぴったりと体を寄せ合っている姿があります。オス猫の太いもふもふとした右手がメス猫の背中にそっと優しく添えられているイラストです。私は、いさましく、かつ、つり上がった目をしたオス猫とタイトルがある表表紙とその裏表紙が真っ白に見えるように180度、絵本を開いて校長室前に置いてあります。生徒の皆さんがそのイラストから何かを感じて、手に取って読んでみたくなってくると嬉しいです。

図書室に置いてある漫画や私の好きな絵本の紹介のようになってしまいましたが、最先端の流行の本はもちろんのこと、様々な小説、物語、図鑑、解説本等があります。夏目漱石の「こころ」もありました。こういった純文学に触れてみるのもいいですね。江戸川乱歩シリーズもありました。自分の小学生の時の図書室にもあった本です。表紙の絵が恐かった思い出が蘇りました。

今、子ども達はゲームや動画に夢中です。また自分のやりたいこと、見たい物を簡単に検索し見ることができます。学校の図書室にはここでは紹介しきれないほどのたくさんの魅力ある本でいっぱいです。何の気もなしに本を見ていて、さしたる理由もなく何となくタイトルに惹かれてその本を読んでみて、はまることもあるでしょう。偶然の出会いも大切です。ぜひ、みなさん、図書室に足を運んでみて下さい。偶然の出会いが待っている図書室は、「まるで宝石をちりばめたように鮮やかな色でキラキラ輝いている『本の宝箱』」のような空間だ。」ということに気づくでしょう。

保護者の皆様、地域の皆様、今後も、本校の教育活動に対して、変わらぬご理解とご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。